

暴力団排除条例が全国で施行

一般事業者も確認義務 利益供与など

暴力団の勢力拡大を阻むため、一般市民に対して暴力団とのかわりを規制した暴力団排除条例が10月1日、東京都と沖縄県を先がりに全都道府県で施行された。

9月15日の第3回日遊協定例理事会で、同条例の中の事業者の関連部分をピックアップした説明が事務局からあった。条例は各自自治体で微妙な違いがある上、非常に入り組んでいるが、大筋は同じとされており、説明は都条例を基になされた。

同条例による暴力団員以外の規制対象は「暴力団関係者」「規制対象者」の2種類。「暴力団関係者」とは、暴力団員に加え暴力団員と密接な関係を有する者で通常「密接交際者」といわれている。「規制対象者」とは、暴力団員に加えいわゆる暴力団の威力を常時ちらつかせている者、暴力団の威力を利用する見返りに利益供与をする者とされる。

違反には勧告、公表

排除の内容は、「暴力団関係者」

に対して都の事業・契約から仲介等も含めて排除する義務を都が負う。

また、一般の事業者は仲介も含めて契約の相手方が「暴力団関係者」かどうかを確認して排除する努力義務を負う。とくに不動産関係者等は、暴力団事務所で使用されないよう、契約時に確認をする努力義務を負う。「規制対象者」に対しては、暴力団の運営や活動に資する場合は利益供与をすることを禁止し、これに違反した場合には公安委員会から勧告が出される。

暴力団の身分を隠すため自分の名義を貸してあげることが禁止し、違反した場合にも勧告が出される。違反への措置は、一次的には勧告が出されるが、1年以内に同様の行為を行なった場合には公表される。公安委員会の調査を拒んだり虚偽の報告をした場合、勧告ではなくいきなり公表がありうる。

ただ、公表する前に意見を述べべる機会が与えられる。

その他、暴排活動者（その親族友人等も含む）に対していやがら

せ行為等があった場合、公安委員会は中止及び再発防止のための必要措置をとることができる。

不正対策室会議

3か月連続で入力減 広告規制違反の情報増

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は9月9日、日遊協本部会議室で開かれ、PS IO（不正対策情報機構）への入力情報が報告され、ゴト、不正情報に関する討議が行われた。PS IOのオープンネット（業界、一般からの不正情報）への7月分入力は725件で昨年同月より110件減、8月分入力が791件で昨年同月より21件減となり、6月分と合わせて3か月連続で減少した。

ゴトに関しては、パチスロのボタンへの攻撃の新しい状況などが協議され、不正情報では広告規制に関する違反疑惑がかなり投稿されており、その内容が検討された。

健全化推進機構が改善要請

計数機のメンテナンス実施を

一般社団法人遊技産業健全化推進機構は9月22日、ホール5団体（全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、P

CSA）と自工会に対し、「計数機検査における異常事案について」と題するお願いを発した。これによると、今年4月から全国の誓約書提出ホールで行っている計数機検査で異常な計数結果となる事案が続いているが、原因として、長期間メンテナンス等が行われていないためにセンサーが誤作動したと推測されるとしている。検査前の目視点検でも、玉計数機のレーンにほこりやゴミがたまっている状態が多く確認されると指摘している。

このため、ホール5団体へは、計数機の計数チェックやメンテナンス等の実施を会員（組合員）ホールに周知徹底するよう、自工会へはこれに関してホールへの適切なアドバイスをするよう、それぞれ要請している。

登録資格審査委員会

更新60業者を承認

遊技機販売業者に関する平成23年度第2回登録資格審査委員会（委員長・深谷友尋日遊協会長）は9月2日、日遊協本部会議室で開かれ、更新登録申請60業者（全商協関係36、回胴遊商関係22、日工組関係1、日電協関係1）を承認した。

27日朝、桔梗門に勢揃いした奉仕団一行



皇居、赤坂御用地で勤労奉仕

深谷会長以下20人で

両陛下、皇太子殿下からお言葉

9、10月の2回行われる。2回目は10月4、7日に予定されている。

ことし1回目の日遊協皇居勤労奉仕団（団長・深谷友尋会長）20人が9月27、30日の4日間、皇居及び赤坂御用地で奉仕活動を行った。昨年（9月）には東京都・関東支部から20人が参加したが、ことしは全国から参加者を募り、

奉仕団は毎日午前8時までに皇居の桔梗門（赤坂御用地では御用地の西門）に集合し、同8時15分に皇居に参入した。左胸に日遊協のマークが入った白いポロシャツに着替え、約8時間、草取り、落ち葉掃除などの作業をして午後4時に退出した。28日、天皇、皇后両陛下がご会釈にお出ましになった。深谷団長が「パチンコ、パチスロのメーカー、販売会社、ホールの公益法人のボランティア隊です」と説明した。皇后陛下が「パチスロとはどんなのですか」とお尋ねになり、さらに天皇陛下が「パチスロはいつからありますか」とご質問をされた。

赤坂御用地では29日に皇太子殿下がご会釈された。殿下が「前回

も来ていただきましたね。どうでしたか」と尋ねられ、深谷団長が「大変感激して帰りました」と答えた。

第1回奉仕団の、深谷団長以外のメンバーは次の通り。（敬称略）

根岸勲、山内伸、峰岸周（以上、サンキョー（株））▽山口智司、石川洋平（以上、シルバー電研（株））▽星野正史、阿施浩行（以上、NE

共生の森で下草刈り

1m以上伸びていた36人で終日リレー作業

共生の森（埼玉県嵐山町）で9月17日、ことし2回目の下草刈りが行われた。社会貢献・環境対策委員会と日遊協事務局から15人、応援の埼玉県森林サポーターズクラブ14人、嵐山町シルバー人材センター17人など計36人が参加した。当日は晴で、気温も高かった。過去3回行われた植林地で、午前8時半ごろから日遊協チームでスタートし、サポーターズクラブ、シルバー人材センターとつなげて午後4時ごろ全体の作業が終了した。ササなどの下草が1m以上も伸びていたが、鎌や機械を使い、足場の悪い斜面で作業に取り組んだ。

XUS（株）▽小笠原達也（合ピームス）▽野瀬雄平、新聞博幸（以上、ピーアークホールディングス（株））▽吉井孝行、山田幸英（以上、日拓リアルエステート（株））▽辻喬、佐々木新道（以上、（株）ニラク）▽樋口省二、辻原弘二（以上、三宝商事（株））▽柳川隆義、井上竜弥（以上、（株）NOW）▽山本健二（日遊協事務局）

今年度は予算の大半を東日本大震災復興のためのボランティア派遣費用に向けたため、公式行事は今回の下草刈りで終わった。5年目の来年は最後の植林が予定されている。

下草刈りに集合した日遊協チーム（9月17日、共生の森で）



バナーの悪用を排除「攻略法詐欺撲滅の雑誌連絡会」

第55回セキュリティ対策委員会
(委員長・山田久雄日遊協副会長)

が9月28日、日遊協本部会議室で開かれ、前回に引き続いて、新しいICタグの仕組みづくりを話し合った。前段として、テクノロジの発達でセキュリティ機能のあるICチップは安価に製造できる可能性があるなど、一般的なICタグの現状についての説明があった。セキュリティを優先させた上で、余力で機密管理、在庫管理などの汎用機能を持たせ、手頃な価格というICタグの開発を目ざして、次回同委員会に日工組、日電協が統一したシステムのたたき台を提案することを確認した。ホール側もICタグに付加したい機能をまとめ、メーカー側と協議を進めていく。

パチンコ攻略法詐欺会社と思われる企業のホームページに、「パチンコ攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会」のバナーが貼られていた著作権侵害の問題で、サーバー会社が9月21日付で該当企業の全コン

テンツの送信防止措置をとったことが報告された。

問題の企業は(株)アドバンスといい、ホームページ掲載の住所は「東京都港区南麻布」のビル5階だが実在しない。「ファン雑誌連絡会」のバナーをクリックすると同社の会社概要にリンクする。セキュリティ対策委員会が開設する攻略法詐欺被害の相談窓口、セーフティネットにも昨年、同社に関する相談が寄せられていた。

委員会事務局が同社にバナー削除を求める通告書の内容証明郵便で送付したが、宛先不明で戻るな



新しいICタグの仕組みを話し合ったセキュリティ対策委員会

どしたため、サーバー会社に対応を要請していた。

中古機流通協議会

パチスロの稼働好調

第74回中古機流通協議会(委員

長・金本正浩全日遊連副理事長)が9月29日、全商協会議室で開かれ、6、8月分の確認証紙発給状況が報告された。パチンコ(中古用)の稼働実績は6月5万4618件(10万4389台)、7月5万6363件(11万734台)、8月4万7091件(8万9790台)で、前年対比で見ると、台数で7月に103%と前年を上回った。その他の月では4月以降、60、80%台で推移している。売買とチェイン店移動の比率はほぼ半々で動いている。一方、認定申請は6月2323件(1万1226台)、7月1814件(1万2247台)、8月5246件(5万465台)となっている。パチスロ(中古用)の稼働実績は6月1万5875件(3万3133台)、7月1万5518件(3万3588台)、8月1万3406件(2万7098台)で、前年対比では件数で25、30%、台数で20%前後の伸びを見せた。一方、認定申請

は6月62件(301台)、7月144件(135台)、8月465件(1037台)となっている。

リサイクル推進委員会

10年度の実態調査を報告

第54回遊技機リサイクル推進委員会(座長・篠原弘志日遊協専務理事)が9月26日、日工組会議室で開かれ、2010年度リサイクル選定業者実態調査(2010年4月1日、11年3月31日)の集計が報告された。

全43社から回答を得た。リサイクル処理した遊技機台数は、パチンコは本体91万7327台(前年度より約2万台増)、盤86万2298台(同約32万5000台減)、枠13万7879台(同約1万台増)、処理量76万7836トン(同約73万7000トン増)。パチスロは本体19万5357台(同約10万5000台減)、処理量9883トン(同約2600トン増)だった。排出者はパチンコの場合、メーカーが59.4%、ホールが31.3%、パチスロの場合はホール57.5%、メーカー32.2%をそれぞれ占め、前年度とほぼ同じ。残りは販社、その他・運送業者となっている。

中国・四国支部が工場見学会

全工程をつぶさに
山佐(株)寄島事業所へ20人

日遊協中国・四国支部（後藤信行支部長）は9月21日、山佐(株)寄島事業所（岡山県浅口市寄島町）で「遊技機製造工程等見学会」を開いた。見学会には後藤支部長、平本直樹(株)プロバ社長を初め、支部会員企業の幹部、社員等20人が参加した。

浅口市は岡山県の南西部にあり、寄島町は市の南部で瀬戸内海の水



見学会一行と、説明役の山佐(株)社員たち

島灘に面している。水島灘に沿う広々とした干拓地に山佐(株)寄島事業所がある。事業所の建物は2棟で、A棟がパチスロ製造工場1万1025㎡、B棟が材料倉庫5929㎡。見学前に工場概要の説明があり、同社の吉國純生執行役員が「岡山の地から全国に向けて、小さいながらもメーカーの立場で思いを込めて発信させていただいている。皆様方の近場にいるので、何かお役に立てることがあれば日々思っており、この見学会も含めてこれからもご協力させていただきたい」と挨拶した。

「リユース」含め5工程

工場は、「主基板封印」「筐体組立」「主基板装着・最終検査」「出荷」「リユース」の5つの工程に分かれている。「主基板封印工程」は

ロム焼きからロム挿入、主基板の動作検査、画像検査など。「筐体組立工程」では、近隣の協力企業で製造されたキャビネットにドア



組み立て工程。女性の多さが目立った

部を取付けし、さらにリール、ホッパー等を取付けて中間完成品とし、動作検査等を経て仮梱包する。「主基板装着・最終検査工程」では商品として出荷するため、筐体かしめ封印、番号の登録・照合などをし、梱包後、出荷先のホール別に仕分けが行われる。そして完成品保管庫に入庫して「出荷工程」へと繋がる。「リユース工程」は、戻ってきた中古機のドア部を分解して廃棄部品とリユース部品とに分別し、リユース部品は洗浄する。他の部分も検品・研磨して、規格に合致すればリユースする。業界でリユースを導入したのは山佐が一番早く、16年前になる。

「地元派遣」で組み立て

工場では1か月先までの生産を抱えて操業中だった。見学者一行

は、全工程を作業のすぐ近くで見学できた。作業の大半を派遣社員で対応していた。見学した時は日産900台ベースで、社員72人、派遣社員160人が働いていた。派遣社員の仕事はほとんどが組み立て作業で、その半数以上が女性だった。人材派遣会社4社と契約し、そのときの生産ベースに合わせる形で人員を調達する。「アナログだが一番融通がきく」と吉國執行役員はいう。工場そのものは日産1500台の能力をもっている。

「人海戦術にびっくり」

平本(株)プロバ社長は「工程を細かく区切った人海戦術にびっくりした。言い換えれば、これだけの数の人たちがつくった新台なら、お客様に胸を張ってお勧めできると思った」、後藤支部長は「近隣の派遣会社を利用することで安定した人材確保ができ、キャビネット等を委託されている協力企業もそれによって地元の人を雇える。地域活性化のためにこのやり方は正解だと思った。それにA棟もB棟も、ゴミもホコリもない清潔さに感心した」と、それぞれ感想を述べた。

杉山一夫氏が連続講演

日本機械学会の認定事業で

一般社団法人日本機械学会が認定する「機械遺産」へパチンコ台を加えるため、銅版画家・パチンコ歴史研究家の杉山一夫氏が、各地の大学で開催される同学会の学術講演で「パチンコ台の歴史から見た技術と社会の連関」について継続的に研究発表することになった。

講演の第1回は9月14日、東京工業大学大岡山キャンパスで開催された同学会の2011年度年次大会の学術講演で行なわれた。

歴史ある「学術集団」

日本機械学会は1897年の創立で、機械に関わる技術者、研究者、法人会員等で構成され、会員数3万7508人と、我が国最大級の学術専門家集団。2007年に創立110周年記念事業の一環として、「機械遺産」の認定を開始した。「機械遺産」は、日本人の生活に大きな影響を与え、文化的遺産として次世代に伝える意義のある機械・機器、関連のシステム、工場等の



建造物や風景、機械関連文書などを対象としている。現在、「小菅修船場跡の曳揚げ装置(長崎県)」「としまえん・カールセルエルドラド(東京都)」「豊田式汽力織機(愛知県)」など50件が認定されている。

所蔵の4台エントリー

杉山氏は昨年、自身の所蔵の中から「球遊機」(遠藤美章商会、大正末年頃)1台、「岡式電気自動球遊機」(岡製作所、昭和4年頃)2種2台、パチンコタイプの菓子販売機「野球自働販賣機」(東洋自動娯楽器商会、昭和2〜7年)1台の計4台を「機械遺産」にエントリーした。パチンコ台はギャンブル的性格のために認定されにくいと見られていたが、「パチンコが長い歴史を持つ日本の文化であると証明するための研究発表をしてきたら」と学会側からも勧められ、今回の連続講演となった。

東京工業大学での同学会の年次大会は9月11〜14日の日程で開かれ、



東京工業大学の教室で講演する杉山氏

期間中、構内50以上の教室で連日、多種類の学術講演会があり、15分前後のミニ講演が行なわれた。杉山氏は14日、「機械技術史・工学史」の部門に登場し、パチンコのルールとされるウォールマシンやその元となるバガテルなど欧米の娯楽機械に焦点を当てた発表を行った。杉山氏は今年度、11月に琉球大学、来年3月に金沢工業大学と佐賀大学で同学会の地方支部や分科会が主催する学術講演会に登壇する。来年度以降も含めて計10〜12回、新資料も駆使してパチンコ史を発表していく予定。

「自らの歴史認識を」

杉山氏は「パチンコには歴史も文化もあり、賭博心は他の霊長類にない人間だけのものだ」というこ

とをアピールするつもりです。業界も、パチンコが真の大衆娯楽として発展するためには、前向きに自らの歴史の重さを認識する必要があります。カジノ論議がさかんになるこれからは、とくにそれが重要になるでしょう」と語っている。

杉山氏は日本版画家協会会員・日本美術家連盟会員。著書の「パチンコ誕生」シネマの世紀の大衆娯楽(創元社)では、膨大な資料と国内外での精力的な取材で、曖昧だったパチンコ草創期の謎を解き明かした。また、本誌2009年5月号から10年4月号まで、「パチンコ史」誕生から正村ゲージまで」を12回連載して注目された。

警察人事

警察庁人事(8月31日) 情報通信企画課長(警視庁生安部長) 宮園司史
▽警視庁生活安全部長(三重県本部長) 河合潔
広島県警人事(9月1日) 生活環境課長(広島東副署長) 松田浩▽因島署長(生環課長) 寺尾辰也▽(9月15日) 生活安全部長(学校長) 花本浩▽警務部付(生安部長) 濱岡保行
千葉県警人事(9月5日) 退職(生安部長) 多部博一▽生活安全部長(学校長) 鶴澤憲一
大阪府警人事(9月13日) 保安課長(平野署長) 共谷隆雄▽退職(保安課長) 大塚敏郎

近畿支部ボランティア活動 台風12号で2名を派遣

台風12号の豪雨災害に伴い、近畿支部は9月10日、ボランティア活動のための情報収集を兼ねて先遣隊を派遣した。(株)大商の2名が10日から2日間にわたって、和歌山県新宮市ボランティアセンターに派遣され、ベトナムボランティアの水2000本、インスタントラーメンなどを届けた。

九州支部 「会員勉強会」を開催

九州支部は9月20日、福岡県遊技会館で会員相互の情報共有などを通じた支部強化のために「会員勉強会」を開いた。75人の参加を得て、山口雅弘支部長は冒頭「東日本大震災のボランティア活動は、支部としても個人的にもその大切さを知りました。今後も派遣していきたい。本日の勉強会はボランティアについても、ゴト対策に関しても十分に勉強になると思います」とあいさつした。

(株)遊技通信社・伊藤賢啓代表が「東日本大震災ボランティア派遣」について報告、今後の対応を講演し、(株)ジーティーネット事業部九州CS課・井上直剛課長が「ゴト対策勉強会」について講演した。

中部支部 愛知県ゴト情報対策会議

愛知県ゴト情報対策協議会が9月6日、愛知県遊協役員室で開かれ、中部支部から山口悟支部長7人、県遊協から5人、岐阜県遊協、三重県遊協を含め16人が参加した。糸吊り玉の手口、電磁波直撃ゴトが対策部品によって鎮静化していたが新たな手口が現れたこと、1ベットボタン

交換のゴトについても清算ボタンに対する攻撃などが報告、討議された。

会員・業界消息

(株)西の丸・西谷会長受章

宮崎県内に10ホールを展開する(株)西の丸(本社・東臼杵郡門川町)の西谷栄一会長が9月30日、東京・明治記念館で開かれた「全国地域安全運動中央大会」の席上、地域の安全活動に尽力したとして「平成23年防犯功労者・防犯栄誉金章」の表彰を受けた。(6ページに関連記事)

●事務所移転

▼遊技場メダル自動補給装置工業会
東京都台東区東上野3・14・8
まつの屋ビル3F

9月5日
▼株式会社NTTデータ
流通・サービス事業本部、メディア・エンターテインメント事業部
東京都江東区豊洲3・3・9
豊洲センタービルAネットワークス31F

8月1日
▼株式会社ガイアシステム
東京オフィス
東京都港区南青山2・2・8
DFビル10F

TEL03・6434・0085
FAX03・6434・0086

9月1日
宮城登米オフィス(新設)
宮城県登米市登米町日野渡内の目
289・3

TEL0220・52・5105
FAX0220・52・5107

8月16日
●支店・営業所移転
▼サミー株式会社
東京支店、東京営業所

TEL03・5816・2581
FAX03・5816・0366

9月20日
●新規入会(正会員)
▼DAXEL株式会社東京オフィス

TEL03・5816・2531
FAX03・5816・2532

9月15日
●新規入会(賛助会員)
▼株式会社スプリングス
代表者・菅又雅道
千葉市中央区中央1・7・8
シグマビル8F

代表者・石井敏行
東京都中野区本町1・32・2
ハーモニータワー1

東京都台東区東上野2・20・1
晴花ビル
(東京支店)

DATA SPOT

パチンコ約6万台、パチスロ約5.5万台

全日遊連は9月21日、店舗数、遊技機台数の2011年8月分を発表した。店舗数は前月に比べると2店増えて、なんとか現状維持を2か月続けているが、昨年8月と比較すると217店減と傾向は変わらず、長期の減少傾向に歯止めがかかったとは言い切れない。

遊技機では、パチンコが前年比でマイナス5万9324台(昨年8月294万1292台)パチスロ機はプラス5万5888台(昨年8月125万4681台)となり、ほぼ同数の出入りになっている。パチスロが今年に入ってからも約3万台(今年1月128万1903台)増えているのがせめてもの救いといったところだ。

<注>店舗数、および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	208	+2
東北	484	0
東京	449	+2
関東	1306	+21
中部	382	+4
近畿	621	+7
中国	243	+5
四国	115	+2
九州	568	+6
全国計	4376	+13

(2011年8月31日現在)

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成23年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	*その他	
1月	11,517	18	22	89 (18)	2,931,322	1,281,903	156	4,213,381
2月	11,489	9	24	99 (19)	2,925,109	1,282,441	156	4,207,706
3月	11,362	6	36	192 (104)	2,893,024	1,280,067	156	4,173,247
4月	11,341	35	30	208 (75)	2,885,042	1,288,051	156	4,173,249
5月	11,341	4	24	189 (5)	2,886,817	1,290,869	156	4,177,842
6月	11,332	12	40	173 (15)	2,885,153	1,295,324	156	4,180,693
7月	11,337	17	15	172 (14)	2,883,760	1,300,491	156	4,184,407
8月	11,339	27	33	165 (15)	2,881,698	1,310,569	156	4,192,693